

# 形成外科

## 1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
助教(うち病院籍)	2人 (1人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	4人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合計	7人

## 2 教員の異動状況

深水 秀一(准教授) (H19.2.1～19.3.31 助教授；19.4.1～現職)

藤原 雅雄(助教) (H19.4.1～現職)

鈴木 綾乃(診療助教)(H19.4.1～21.3.31 医員；21.4.1～現職)

永田 武士(医員) (H21.4.1～現職)

金 大志(医員) (H22.4.1～現職)

松下 友樹(医員) (H22.4.1～現職)

瀧口 徹也(医員) (H22.4.1～現職)

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1)原著論文数(うち邦文のもの)	5編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	3.02
(2)論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3)総説数(うち邦文のもの)	2編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(4) 著書数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
(5) 症例報告数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Fujiwara M, Matsushita Y, Fukamizu H: Negative pressure therapy with irrigation for an infected digit: a preliminary report. Hand Surg. 16, 99-103, 2011.
2. Fujiwara M, Suzuki A, Nagata T, Mizukami T, Terai T, Fukamizu H: Venous drainage of delayed distally-based sural flap: Evaluation by duplex scanning. J Plast Reconstr Aesthet Surg. 63, e760-2, 2010.
3. Fujiwara M, Nakamaura Y, Nishimatsu H, Fukamizu H: Strategic two-stage approach to radial club hand. J Hand Microsurg. 2, 33-7, 2010.
4. Fujiwara M, Suzuki A, Mizukami T, Nagata T, Ito T, Fukamizu H: Mid-arm lymph nodes dissection for melanoma. J Plast Reconstr Aesthet Surg. 63, 1561-4, 2010.
5. Mizukami T, Fujiwara M, Suzuki A, Nagata T, Fukamizu H: Sentinel lymph node detection by indocyanine green fluorescence imaging in skin cancer patients: technical refinement. The Open Surgical Oncology Journal. 2, 57-61, 2010.

インパクトファクターの小計 [ 3.016 ]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一: 母斑細胞母斑・青色母斑: 形成外科の治療指針 update 2010  
形成外科 53, s22, 2010
2. 深水秀一、藤原雅雄: 鼻全層欠損の再建. 私の手術と合併症回避のコツ  
形成外科 53, 407 - 416, 2010

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

4 特許等の出願状況

	平成22年度
特許取得数(出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成22年度
--	--------

(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	4件 (126万円)

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	1件
(2) シンポジウム発表数	0件	1件
(3) 学会座長回数	0件	4件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	0件	

### (2) 国内学会の開催・参加

#### 1) 主催した学会名

深水秀一：第45回日本形成外科学会中部支部学術集会 2010.7.10.

#### 2) 学会における特別講演・招待講演

深水秀一：平成22年度日本形成外科学会春期学術講習会 2010.4.6.

#### 3) シンポジウム発表

深水秀一：第53回日本形成外科学会総会・学術集会教育講演 2010.4.8.

#### 4) 座長をした学会名

深水秀一：第28回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会

第37回日本マイクロサージャリー学会学術集会

第1回県西部フットケア研究会

第7回日本褥瘡学会中部地方会学術集会

### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

深水秀一：日本形成外科学会評議員、日本皮膚悪性腫瘍学会評議員、日本褥瘡学会評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

## 9 共同研究の実施状況

	平成22年度
(1)国際共同研究	0件
(2)国内共同研究	0件
(3)学内共同研究	0件

## 10 産学共同研究

	平成22年度
産学共同研究	0件

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. インドシアニングリーン (Indocyanine green) を用いた皮弁の血行動態の評価
2. 皮膚悪性腫瘍におけるインドシアニングリーン (Indocyanine green) と RI を併用したセンチネルリンパ節 (sentinel lymph nodes) の同定と評価
3. マイクロニードル機器を用いたボトックス注入による眉間及び目尻しわとり効果の検討
4. 乳房インプラントおよび入墨法による乳房再建
5. 5-ALA を用いた皮膚および軟部悪性腫瘍の術中蛍光診断  
上記 1~3 について論文発表および学会発表を行った。

## 15 新聞、雑誌等による報道

1. 深水秀一：浜松医科大学公開講座 2010 講演、「若々しさの追求 ―今できることと今後期待できること―」、静岡新聞社後援